

平成28年12月定例会会議録（第2号）

平成28年12月7日 水曜日 午前10時00分開議

渋谷 佐輔 議長 五十嵐 智洋 副議長

出席議員（14名）

1番	宇津木 正紀	議員	2番	浅野 敏明	議員
3番	金子 豊美	議員	4番	内谷 邦彦	議員
5番	平 進介	議員	6番	鈴木 富美子	議員
7番	渡部 秀樹	議員	8番	今泉 春江	議員
10番	赤間 泰広	議員	11番	小関 秀一	議員
12番	五十嵐 智洋	議員	14番	安部 隆	議員
15番	町田 義昭	議員	16番	渋谷 佐輔	議員

欠席議員（2名）

9番 梅津 善之 議員 13番 蒲生 光男 議員

説明のため出席した者

内谷 重治	市長	遠藤 健司	副市長
齋藤 環樹	総務 参事	泡渊 栄人	地方創生 参事
松木 幸嗣	厚生 参事	竹田 利弘	総合政策 課長
高石 潤一	総務 課長	渡邊 洋男	財政 課長
桐生 芳弘	公共施設整備 課長	松木 満	地域づくり推進 課長
佐野 安広	税務 課長	鈴木 広弥	市民 課長
伊藤 亮一	健康 課長	佐藤 隆	福祉あんしん 課長
鈴木 敏久	子育て推進 課補佐	堀越 俊一郎	監査 委員
平田 裕	教育 長	鈴木 國男	選挙管理委員会 委員長
鈴木 榮一	農業委員会 会長	谷澤 秀一	産業 参事
青木 邦博	建設 参事	遠藤 敏広	農林 課長
手塚 慶一	商工観光 課長	横山 照康	産業活力推進 課長
多田 茂之	建設 課長	種村 正一	上下水道 課長
梅津 浩一	会計 課補佐	横山 賢一	教育 参事
鈴木 博郎	学校教育 課長	川村 直人	文化生涯学習 課長

小 関 浩 幸	生涯スポーツ課長	鈴 木 良 弘	選挙管理委員会事務局長
高 橋 洋 一	監査委員事務局長	中 田 浩 之	農業委員会事務局長
渋谷 正 通	消 防 主 幹		

事務局職員出席者

飯 澤 常 雄	議会事務局長	小 林 克 人	補 佐
若 月 由 紀	議事調査主査	安 達 洋 司	主任技士

議事日程（第2号）

平成28年12月7日 水曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

5 番	平 進 介	議員
2 番	浅 野 敏 明	議員
4 番	内 谷 邦 彦	議員
1 番	宇津木 正 紀	議員
6 番	鈴 木 富美子	議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第2号）に同じ

開 議

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、9番、梅津善之議員、13番、蒲生光男議員の2名であります。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、金子 剛子育て推進課長が本日並びに明日の会議に欠席のため、鈴木敏久子育て推進課補佐が出席しておりますので、ご報告いたします。

また、平 進介議員から、資料の配付について申し出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは順次、ご指名いたします。

平 進介議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位1番、議席番号5番、平進介議員。

(5番平 進介議員登壇)

○**5番 平 進介議員** おはようございます。

今定例会の一般質問から質問の方法が2つとなりました。試行的ではありますが、一つは従来の一括質問一括答弁方式、そして2つ目は今回から新たに加わりました1回目から質問項目ごとに答弁を行う一問一答方式であります。どちらを選ぶかは各議員の選択制となりました。私は私の思いと提言をしっかりと述べさせていただくという意味で、これまでの方式である一括質問一括答弁方式で行います。

いずれにしても、議会の活性化により市民福祉の向上につながることを目的でありますので、そのことをしっかりと心にとめて、議員活動に邁進したいと考えております。

このたびの質問につきましては、長井マラソンの事故対応について、並びに地域防災力の向上を目指しての2点についてであります。順次質問をいたしますので、当局の簡潔明瞭、そして前向きな答弁をお願いいたします。

それでは、初めに1点目の長井マラソンの事故対応についてお伺いいたします。

去る10月16日の日曜日、第30回長井マラソン大会が開催されました。今回はフルマラソンを初め、ハーフマラソンや12.195キロメートルなど長井市の特色を生かしたコース設定などに、北は北海道から南は九州まで、全国から923人のエントリーがありました。特にフルマラソンには、日本陸上競技連盟から認定を受けた公認コースであるながい山の港町マラソンコースに最大の642人がエントリーされました。ことしは、公認となって3回目の大会となり、公認コースとしての認知度も高まってきていると思います。

教育委員会からの報告によれば、公認コースであるフルマラソンとハーフマラソンのスタート位置を誤り、48メートル手前からスタートさせてしまったとのことでありました。スタート